

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）  
 「Regional Editors制度の導入による海外情報発信力強化の取り組み」  
 （課題番号：252016）

学術団体名：公益社団法人日本セラミックス協会  
 学術刊行物の名称：Journal of the Ceramic Society of Japan  
 事業期間：平成25年度～平成29年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本取組は、JSTAGEのプラットフォーム上に置かれたJCS-Japanに対する海外からの投稿数向上とJSTAGE上での読者数の増加を目的としており、特色ある研究分野の特集号の発行を目指して、Regional Editor 制を取り入れた特集号の継続的な発行を中心に、複数の取組を行っている。

Regional Editor制度では、欧米及び日本以外のアジア地域の二つに分類してそれぞれの地域にRegional Editor (Editor in Chief各1名とAssociate Editorsを数名)をおき、各地域でJCS-Japanの編集業務のサポートや広報活動及び各地域の特色ある研究分野の特集号を組めるように依頼し、それぞれの地域での情報収集とJCS-Japanの認知度の向上に努力する。



### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

Regional Editors 制度ではまず、欧米について U.S.A., ドイツ, イギリス, フランス, イタリア, ベルギー, スイス, スペイン, その他東欧諸国など多くのセラミックス分野に関連する国々から EIC を選出する。アジア地域についても同様とする。選出された EIC は、それぞれの地域で数名の Associate Editors を選出し、委員会業務を円滑に運営できる体制を整える。そして、各地域で毎年 1 巻の特集号を組める様に努力する。これにより各地域のセラミックス関連論文の情報入手と日本との比較による現在の日本セラミックス協会の持つ科学技術力を世界の読者に発振するきっかけを作り、海外の読者や論文投稿数を倍増する。

また、毎年関連する国際会議に Regional Editors のメンバーに集まって頂き、合同の編集委員会の開催を企画する。これにより、より密な情報交換と将来構想を検討する。

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

平成 25 年度は初年度ということもあり企画の進行が遅れた結果、目標 2 件に対し 1 件の特集企画となったが、その後体制を見直し、平成 26、27 年に目標達成（平成 27 年は達成予定）することができた。

- ・平成 25 年度 EIC : Barbara Malič (Slovenia) 7 報
- ・平成 26 年度 EIC : Hyungsun Kim (Korea) 16 報
- ・平成 26 年度 EIC : Prabhakar Singh (USA) 20 報
- ・平成 27 年度 EIC : Richard M. Laine (USA) 19 報
- ・平成 27 年度 EIC : Olivier Guillon (Germany) 準備中

本取組の達成状況を検証するため、本取組開始直前の 6 ヶ月と本報告書を作成した平成 27 年 10 月時点での直近 6 ヶ月のアクセス数を比較したところ右図のようになり、海外読者数の倍増計画が順調に達成できていると考えられる。

### ・今後の計画

今後も本取組の効果を検証しつつ、必要があれば改善を行いながら、当初の計画を遂行する。

